



ネパール連邦民主共和国

ネパールの教育制度(1)

ネパールにつながる本邦在留者(短期滞在者等を除く)のうち、1回の申請で最長5年間の在留が認められる「技術・人文知識・国際業務」・「家族滞在」と、在留期間が様々である「技能」等を合わせると、全体の87%を占める(総務省統計局, 2022年6月)。保護者の在留期間が限られていることを踏まえ、短期的な視野を持って、子どもを指導することが期待される。

学校体系と取得可能な資格・学位

- 2016年の教育法改正により、1~8年生までの基礎教育の8年間は、無償の義務教育期間であると定められた。中等教育は、9年生から12年生である。

義務教育	就学前教育機関	幼稚園 (3~4歳)
	基礎教育学校 (1-8年生) 前期基礎教育学校 (1-5年生) 後期基礎教育学校 (6-8年生)	1年生 (5~6歳)
		2年生 (6~7歳)
		3年生 (7~8歳)
		4年生 (8~9歳)
		5年生 (9~10歳)
		6年生 (10~11歳)
		7年生 (11~12歳)
		8年生 (12~13歳)
	中等教育学校 (学校によって 対象学年が異なる)	9年生 (13~14歳)
10年生 (14~15歳)		
技術職業教育機関 (教育課程によって 学校や就学期間が異なる)		11年生 (15~16歳)
		12年生 (16~17歳)
大学(11校)、医療系教育機関(4校) 各大学傘下の提携カレッジ(1,400校)		

💡 富裕層は子弟を私立学校(インドや欧米の教科書を用い、教授言語は英語)、貧困層は設備の劣る公立学校(ネパール政府作成の教科書を用い、教授言語はネパール語)に通わせるなど、貧富の差が子どもの教育の質に影響を与えている。

★基礎教育修了証

★技術教育課程修了証(2年)

★中等教育修了証*1

★ディプロマ(5年間の職業教育)

★学士 ★修士 ★博士

*1:「この生徒が大学に入学することに意義を唱えない」と明記されている。

- 面積:14.7万平方キロメートル(北海道の約1.8倍)
- 人口:3,054万人(世界銀行, 2022年)
- 民族:インド・アリア系の民族と、チベット・ミャンマー系民族
- 言語:ネパール語(公用語)、その他
- 宗教:ヒンドゥー教(81.3%)、仏教(9%)、イスラム教(4.4%)他
- 平均寿命:男性67.23歳、女性72.75歳(世界保健機関, 2019年)
- 成人識字率:71%(世界銀行, 2021年)

就学手続き・学校区域指定の有無

- ネパール政府が、すべての国民に基礎教育を受けさせる責務を負い、そのための必要な調整も行う必要がある。また同時に、保護者も、子どもを就学させる義務を負っている(ネパール政府, 2018年)。
- 自宅から2キロ以内の学校に就学させることが定められている一方で、それ以外の学校に就学させることを妨げるものではなく、保護者が就学させたい学校を選択できる(ネパール政府, 2018年)。

💡 学校年度は、4月中旬~翌年3月中旬であり、日本より1年早く、満5歳に達している子どもが1年生として入学する。

学校教育費

- 8年間の基礎教育の学費は無償である。
- 制服や学用品の購入費、遠足等の課外活動費、試験受験料、寄附金等は保護者が負担する必要があり、年間で約1万円程度になるとの情報もある。一方で、貧困地域では、政府により学用品が無償で提供されることもある。
- ネパール政府は、人間開発指数の低い地域や貧しい家庭の子ども、障害のある子どものいる家庭に奨学金や朝食(代)を提供している場合もある。

進学要件

- 中等学校:基礎教育試験(8年生学年末に実施)合格
- 技術職業教育機関(9-10年生(2年課程)・9-12年生(4年課程)):基礎教育試験合格+入学試験合格
- 技術職業教育機関(11-13年生):技術職業教育2年課程修了(10年生修了相当)または中等教育学校10年生学年末試験に合格+入学試験合格
- 大学:中等教育修了資格(全国統一試験に合格後取得)またはディプロマ(5年間の技術職業教育修了後取得)

💡 8年生の学年末に郡単位で実施される基礎教育試験に合格すると、中等教育学校9年生に進学できる。技術職業教育機関に進学するには、加えて各学校の入学試験の合格が必要である。

ネパールの教育制度(2)

障害のある子どもの就学

※「特別支援教育」や「特別教室」の定義は、国により様々である。

障害のある子どもの教育を受ける権利は、憲法や障害者権利法(2017)に明記されている。ネパール政府によると、学校セクター開発計画(2016-2023)に基づき、障害のある子どもの入学率や在籍率を高め、長期的でインクルーシブな教育計画を策定するためのさまざまな対策を施してきた。続く学校教育セクター計画(2022-2030)においては、現状ではほぼ実施されていないインクルーシブ教育の実践校を増加させることなどを目標に、インクルーシブ教育の推進に向け、さまざまな取組が計画されている。

● 障害のある子どもに対する就学支援の手続き

- 1) 医師が、診断に基づき、子どもに障害がある旨記載した証明書を発行する。
- 2) 地方自治体が、該当の子どもに対する就学支援を女性子ども社会福祉省(MoWCSW)に要請する(医師からの証明書を添付)。
- 3) MoWCSWが承認したら、学校を通じて、該当の子どもに保護者に、奨学金、制服や学用品、学校での朝食の食事(代)等が支給される場合がある。

● 障害のある子どもの教育の場

通常学校

環境の未整備や教員の能力・理解の不足などにより、現状では、障害のある子どもが通常学級で学ぶ機会は限られている。一方で、軽度・中度の身体障害児を受け入れている学校もある。

統合学校・リソース教室(Integrated Schools / Resource Classes)

通常学校に設置されている、通常学級とは異なる学級で、障害に応じた教育が提供される。ここで2~3年間学んだ後に、通常学級に移ることが期待されている。

特別学校(Special Schools)

障害に応じた教育を提供する通常学校とは異なる学校である。

ノン・フォーマル学校(Non-formal Schools)

正規の学校に通うことが困難な子どものために、オルタナティブ(代替的)な教育を提供する学校。地域、NGO、コミュニティー学習センター、教育機関によって運営されている。

🔦 指導上の留意点

- 比較的新しい概念である、自閉症やADHDなどを含む「発達障害」について、保護者は十分理解していない、または障害と認識していない場合がある。
- 来日前の教育の状況、家庭環境や成育歴、母語の発達の状況などが子どもの発達に影響を及ぼしていることに留意が必要である。

ネパールの教育内容(1)

- 2019年に国家カリキュラム・フレームワークが採択された。小学校1年生の新カリキュラムは2020年に試行され、2021年に導入された。2年生以降も順次導入の予定である。
- 公立学校の教育言語はネパール語である。ネパールは多民族・多言語国家であり、123の言語を有すると言われているが、ネパール語を母語としない子どもも、小学校に入学するまでにネパール語を学ぶ必要がある。
- 私立学校の教育言語は、主に英語である。
- ネパールでは、ローマ暦とは異なるビクラム暦が、公的にも一般的にも使用されている。ビクラム暦2079年は西暦2022年4月14日~2023年4月13日に当たる。

教科(基礎教育 1年生~8年生)

- 基礎教育学校1~3年生では、言語(ネパール語、英語)、算数、理科、保健体育、社会科、創造芸術(creative arts)、母語、ローカルコンテンツ等を学ぶ。
- 4~8年生では、言語(ネパール語、英語)、算数、科学技術、社会科と人間価値教育、保健体育、創造芸術、母語、ローカルコンテンツ等を学ぶ。

基礎教育1~3年生の主要教科の学習時間(新カリキュラム)

教科	年間学習時間
ネパール語	160
英語	128
算数	128
理科、保健体育	128
社会科、創造芸術	128
母語、ローカルコンテンツ	160

評価・進級制度

- 小学校から留年制度がある。小学校1年生の留年率が最も高い。
- 継続的学習評価システム(Continuous Assessment System: CAS)が導入され、形成的評価が行われている。教員には、各児童生徒のポートフォリオを作成し、授業活動(積極的に発言するなど)、出席状況、テスト結果等を毎月記録することが求められている。
- 1年生から3年生は、100%CASで評価される。4年生から5年生は、CAS(50%)と定期試験(50%)の結果で評価される。

修了率(※):初等教育82%、前期中等教育73%、後期中等教育27%(2019年)

(※)各教育段階の最終学年該当年齢より3~5歳年齢が高い子どものうち、最終学年を修了した子どもの数の割合(データは、UNICEF, 2022年)。



- 初等学校(※1)の留年率は3%(世界銀行, 2018年)
- 初等学校最終学年の残存率(※2)は74%(世界銀行, 2016年)。

(※1)前期基礎教育にあたる1年生~5年生。

(※2)初等教育の最初の学年に入学した子どものうち、最終学年に到達した子どもの割合。

ネパールの教育内容(2):算数カリキュラム

初等算数教育の学習内容系統一覧表(日本の学習領域に則り整理)

領域/学年	1年	2年	3年	4年	5年
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ●100までの数 ●奇数と偶数 ●10までの序数 	<ul style="list-style-type: none"> ●1000までの数 	<ul style="list-style-type: none"> ●1万までの数 	<ul style="list-style-type: none"> ●1000万までの数 ●四捨五入 	<ul style="list-style-type: none"> ●10億までの数 ●素数と合成数
	<ul style="list-style-type: none"> ●1、2位数の加法・減法 	<ul style="list-style-type: none"> ●3位数の加法・減法 ●九九(1~10の段) ●九九を用いた除法の計算 	<ul style="list-style-type: none"> ●4位数の加法・減法 ●乗法(3位数)×(2位数) ●除法(3位数)÷(10以下の数) 	<ul style="list-style-type: none"> ●5位数の加法・減法 ●加法と減法を混合した式の計算 ●乗法(3位数)×(3位数) ●除法(3位数)×(3位数) 	<ul style="list-style-type: none"> ●四則を混合した式の計算
		<ul style="list-style-type: none"> ●簡単な分数の意味(1/2、1/4) 	<ul style="list-style-type: none"> ●分数の読み書き(1/2、1/4、3/4、1/3、2/3) ●図を用いた分数の比較 	<ul style="list-style-type: none"> ●同分母の分数の比較 ●真分数、仮分数、帯分数 ●小数の意味(小数第2位まで) ●小数と分数の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ●同分母の分数の加法・減法 ●小数と分数の変換 ●小数の加法・減法
			<ul style="list-style-type: none"> ●口を含む四則計算の式 	<ul style="list-style-type: none"> ●数式の計算 ●方程式とその解法 	
図形	<ul style="list-style-type: none"> ●位置関係を表す言葉(内・外、前・後、上・下、右・中央・左、遠・近) ●直線と曲線 ●基本的な平面図形(三角形、四角形、円) 	<ul style="list-style-type: none"> ●三角形と四角形 ●三角形、四角形、円の描写 	<ul style="list-style-type: none"> ●平面図形の要素(辺と角) ●直角 ●三角形と四角形の作図 ●長方形と正方形 	<ul style="list-style-type: none"> ●角の大きさや角度の測定(0~180°) ●角の作図 ●三角形と四角形の要素(頂点、辺、角) ●直方体と立方体の要素(頂点、辺、面) 	<ul style="list-style-type: none"> ●三角形と四角形の内角 ●鋭角、直角、鈍角 ●垂直と平行 ●いろいろな立体図形の要素(頂点、辺、面)
測定/変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> ●長さの比較 	<ul style="list-style-type: none"> ●長さの単位(cm、mm) ●定規を用いた長さの測定 ●重さの単位(kg、g) ●かさの比較 	<ul style="list-style-type: none"> ●長さの単位(m)とその変換 ●かさの単位(L、mL) ●長方形の面積 	<ul style="list-style-type: none"> ●長さの単位(km)とその変換 ●長さ、重さ、かさの加法・減法 ●長方形と正方形の周囲の長さ ●正方形の面積 	<ul style="list-style-type: none"> ●長さ、重さ、かさの乗法・除法 ●長方形と長方形の面積の公式 ●立方体の体積の公式
	<ul style="list-style-type: none"> ●身の周りの活動と時間 ●カレンダー(日、週) 	<ul style="list-style-type: none"> ●時計の読み方(時、分) ●カレンダー(日、週、月、年) 	<ul style="list-style-type: none"> ●時計の読み方(時、分、秒) ●経過時間 	<ul style="list-style-type: none"> ●時間の加法・減法 	<ul style="list-style-type: none"> ●12時刻と24時刻 ●時間の乗法・除法
				<ul style="list-style-type: none"> ●百分率(%) 	<ul style="list-style-type: none"> ●百分率(%)の計算
データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ●絵グラフ 	<ul style="list-style-type: none"> ●表 	<ul style="list-style-type: none"> ●表と絵グラフの応用問題 		



数と計算領域を指導する際の留意点

●各学年で学習する整数

ネパールの各学年で学習する整数は、日本よりも小さい。例えば、日本の3年生は1億まで学習するのに対し、ネパールの3年生は1万までしか学習しない。そのため、整数の学習の前に追加的な指導が必要である。例えば、3年生までネパールで学習し、4年生から日本で学習する子どもには、学習の前に1万~1億までの数を指導する必要がある。

●分数の学習内容・学習時期

ネパールの小学校では、分数の計算にあまり時間が割かれていない。5年生で同分母の分数の加法・減法を扱うのみで、異分母の分数の加法・減法や乗法・除法は指導されない。3年生までネパールで学習し、4年生から日本で学習する子どもには、同分母の分数の加法・減法の指導が必要である。

●小数の学習時期

日本では3年生から小数を学習するが、ネパールでは4年生からである。4年生から日本で学習する子どもには、小数の意味や読み方、簡単なたし算・ひき算などの指導が必要である。

ネパールの学校文化

1年間の学校行事

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

新学期
(※1)

夏季休暇
(※2)

ダサイン/
ティハール休暇
(※2)

※1 学期制を採用していない。学年開始は4月中旬である。

※2 年間約60日の休暇があり、休暇の時期は学校が定める。

例:ダサイン休暇(ヒンドゥー教のお祭り:9月下旬~10月)、ティハール休暇(収穫祭:10月~11月ごろ)、夏季休暇(7月ごろ)

1日の流れ

- 授業があるのは日曜日から金曜日(半日)であり、土曜日・祝日は休みである。
- 1日の授業時数は、学校により異なるが、6~8単位時間(1単位時間40分~45分)である。

中学校の例

9:30~10:00 登校時間

村落部では徒歩、都心部ではバスで通学することが多い。低学年の子どもは保護者と通学する場合もある。

10:15~13:15 午前の授業

多くの場合、子どもたちは弁当を持参する。政府の支援により給食が提供される貧困地域等の学校もある。

13:15~13:45 お昼休み

13:45~16:00 午後の授業

授業と授業の間に休憩時間が15分間ある。

16:00~16:15 掃除時間

学期中は日常的に宿題が出される。また、長期休業期間も宿題が出される。

16:20 下校時間

学校のルール・習慣

- 小学校から制服がある。
- お菓子を学校に持参しても良い。
- 男子生徒は短髪、女子生徒は髪を結うなど、髪型についての厳しい校則がある。
- アクセサリーや化粧品は校則で禁止されていることが多い。
- 掃除は、公立学校では児童生徒が行うことが一般的である。私立学校では、清掃業者が行う場合もある。

学校生活に必要なもの

- 教科書は10年生まで無償であり、入学・新学期開始後2週間以内に配布されることになっている。教材や文房具は保護者が購入する。

勉強以外の活動

- ダンス、エクササイズ、工芸などの課外活動がある。
- 学校行事は学校により異なるが、運動会、博物館や展示会を訪問する遠足などがある。

保護者の関わり

- 教員は、CASに則り、児童生徒のポートフォリオを作成し、定期的に更新する。教員と保護者はポートフォリオを基に子どもの学習状況について定期的に話し合い、その結果を児童生徒のポートフォリオに反映することになっている。
- ネパールの学校にもPTAがあり、年に一度、学校の課題、学校行事、大規模な修繕などについて協議する。



指導上の留意点

- ネパールでは、お菓子を学校に持参し、休み時間に食べるのが許されているが、日本では原則許されていないことを保護者や児童生徒に説明が必要な場合がある。

参考文献

- 外務省. ネパール 基礎データ. (オンライン) 2023年1月4日. (引用日: 2023年1月26日.) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/nepal/>.
- 駐日ネパール連邦民主共和国大使館. 連邦民主共和国ネパールについて. (オンライン) (引用日: 2023年1月24日.) <https://jp.nepalembassy.gov.np/ja/%E9%80%A3%E9%82%A6%E6%B0%91%E4%B8%BB%E5%85%B1%E5%92%8C%E5%9B%BD%E3%83%8D%E3%83%91%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6/>.
- The World Bank. Literacy rate, adult total (% of people ages 15 and above). (オンライン) (引用日: 2023年2月18日.) [https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/life-expectancy-at-birth-\(years\)](https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/life-expectancy-at-birth-(years))
- The World Bank. Population, total – Nepal. (オンライン) (引用日: 2023年8月10日.) <https://data.worldbank.org/indicator/SP.POP.TOTL?locations=NP>
- World Health Organization(WHO). Life expectancy at birth (years). (オンライン) (引用日: 2023年1月22日.) [https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/life-expectancy-at-birth-\(years\)](https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/life-expectancy-at-birth-(years))

(学校制度)

- 総務省統計局. e-Stat 政府統計の総合窓口. 在留外国人統計(旧登録外国人統計). (オンライン) 2022年6月. (引用日: 2023年1月13日.) <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00250012&tstat=000001018034>.
- 千葉県教育委員会. 母国の教育事情 ネパール. (オンライン) (引用日: 2023年1月26日.) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gaikokujin/gakkou-sensei/documents/30.pdf>.
- 独立行政法人国際協力機構(JICA). 国別障害関連情報ネパール連邦民主共和国. (オンライン) 2021年2月. (引用日: 2023年1月26日.) <https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/1000044777.pdf>.
- 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構. 高等教育・質保障システムの概要 ネパール. (オンライン) 2020年3月. (引用日: 2023年1月26日.) https://www.niad.ac.jp/media/015/202003/overview_nepal.pdf.
- 内閣府. 1.8 ネパールにおける合理的配慮・環境整備と障害者権利委員会審査状況. (オンライン) (引用日: 2023年2月28日.) https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/tyosa/h29kokusai/h1_01_08_02.html
- Centre for Education and Human Resource Development, Ministry of Education, Science and Technology in Nepal. Flash II REPORT 2076 (2019-020). (オンライン) 2020年. (引用日: 2023年2月26日.) https://cehrd.gov.np/file_data/mediacenter_files/media_file-17-1295178199.pdf
- Government of Nepal. Nepal Law Commission. The Act Relating to Compulsory and Free Education, 2075 (2018). (オンライン) (引用日: 2023年2月25日.) [The-Act-Relating-to-Compulsory-and-Free-Education-2075-2018.pdf \(lawcommission.gov.np\)](https://www.lawcommission.gov.np/The-Act-Relating-to-Compulsory-and-Free-Education-2075-2018.pdf)
- Government of Nepal. Nepal Law Commission. The Act Relating to Rights of Persons with Disabilities, 2074 (2017). (オンライン) (引用日: 2023年2月24日.) [The-Act-Relating-to-Rights-of-Persons-with-Disabilities-2074-2017.pdf \(lawcommission.gov.np\)](https://www.lawcommission.gov.np/The-Act-Relating-to-Rights-of-Persons-with-Disabilities-2074-2017.pdf)
- UNESCO. Nepal, INCLUSION. (オンライン) 2021年7月23日. (引用日: 2023年1月26日.) <https://education-profiles.org/central-and-southern-asia/nepal/~inclusion>.

(学校制度 続き)

- UNICEF. Education Case Study, Nepal, Planning for inclusion. (オンライン) 2022年2月. (引用日: 2023年2月26日.)
[https://www.unicef.org/media/115286/file/Planning%20for%20inclusion%20\(Nepal\).pdf](https://www.unicef.org/media/115286/file/Planning%20for%20inclusion%20(Nepal).pdf)
- UNICEF. Disability-Inclusive Education Practices in Nepal. (オンライン) 2021年8月. (引用日: 2023年1月26日.)
<https://www.unicef.org/rosa/media/17006/file/Country%20Profile%20-%20Nepal.pdf>.

(教育内容・学校文化)

- 国際交流基金. 日本語教育 国・地域別情報 ネパール(2020年度). (オンライン) (引用日: 2023年1月15日.)
<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2020/index.html>.
- D-COOL. ネパールの教育② 英語教育. (オンライン) 2019年12月18日. (引用日: 2022年12月25日.) <https://d-coool.com/2019/12/07/%E3%83%8D%E3%83%91%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%AE%E6%95%99%E8%82%B2%E2%91%A1/>.
- 独立行政法人国際協力機構(JICA). ネパール連邦民主共和国基礎教育セクター基礎情報収集・確認調査報告書. (オンライン) 2012年. (引用日: 2023年1月20日.)
<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12145587.pdf>.
- 独立行政法人国際協力機構(JICA). ネパール国小学校運営改善支援プロジェクトフェーズ2 業務完了報告書. (オンライン) 2018年. (引用日: 2023年1月15日.)
<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12309357.pdf>.
- 独立行政法人国際協力機構(JICA). ネパール連邦民主共和国基礎教育セクター基礎情報収集・確認調査報告書. (オンライン) 2010年. (引用日: 2023年2月25日.)
<https://openjicareport.jica.go.jp/pdf/12145587.pdf>
- ネパジャパ! . ネパールの学校制度! 入学から卒業までの教育システムをご紹介. (オンライン) (引用日: 2023年1月6日.)
<https://nepajapa.com/nepal-school-system/>.
- ELT CHOUTARI. Place of English in the integrated curriculum for early grades (1-3) in Nepal. (オンライン) 2019年. (引用日: 2023年2月25日.)
<https://eltchoutari.com/tag/integrated-curriculum/>.
- The Kathmandu Post. Government plan to introduce new school curricula suffers setbacks. (オンライン) 2023年1月20日. (引用日: 2023年1月20日.)
<https://kathmandupost.com/national/2021/06/13/government-plan-to-introduce-new-school-curricula-suffers-setbacks>.
- The Times of India. Nepal to make yoga education compulsory for schoolchildren. (オンライン) 2020年1月13日. (引用日: 2022年12月25日.)
<https://timesofindia.indiatimes.com/education/news/nepal-to-make-yoga-education-compulsory-for-schoolchildren/articleshow/73227530.cms>.
- The World Bank. Persistence to last grade of primary, total (% of cohort). (オンライン) (引用日: 2023年1月6日.)
<https://data.worldbank.org/indicator/SE.PRM.PRSL.ZS?locations=NP>.
- The World Bank. Repeaters, primary, total (% of total enrollment). (オンライン) (引用日: 2023年1月10日.)
<https://data.worldbank.org/indicator/SE.PRM.REPT.ZS>.
- UNICEF Data. UNICEF Global database on completion rate.(オンライン) 2022年5月.(引用日:2023年3月16日).
<https://data.unicef.org/topic/education/primary-education/>
- Yogendra Chapagain. Views of Social and Educational Issues. National Curriculum Framework 2076: Overview, Policy, Structure and Critical Reflection (オンライン) 2020年6月22日. (引用日: 2023年1月20日.) <https://ypvision.blogspot.com/2020/06/national-curriculum-framework-2076.html>.

(算数カリキュラム)

- Ministry of Education, Science and Technology. आधारभूत शिक्षा पाठ्यक्रम २०७८ कक्षा ४-५ (Basic Education Curriculum 2078 Class 4-5). 2021年
- Ministry of Education, Science and Technology. आधारभूत तह (कक्षा १-३) को पाठ्यक्रम (Curriculum at Foundation Level (Class 1-3)). 2019年

質問紙調査

- नेपाल基礎教育学校校長への質問紙回答。(2023年2月3日.)
- नेपाल基礎教育学校数学教員への質問紙回答。(2023年2月24日.)
- नेपाल中等教育学校教員への質問紙回答。(2023年2月27日.)

※ 為替レート: 2023年3月JICAレートにて換算(NPR1=1.0401000円), 百の位で四捨五入(500円以下の場合は十の位で四捨五入).